



白雲庵(あたごさん)の法要が今年も7月23日に行われました。コロナ禍のため、恒例の子ども相撲が中止となった中、今年は法要への参加者を少人数に限定して行われました。



# 広報柏谷

発行：柏谷区広報委員会



昭和50年4月14日 白雲庵御開帳時の記念写真

## あの頃の柏谷 白雲庵

写真とは、柏谷公民館の建設に伴い解体される直前の白雲庵です。公民館が完成したのは昭和50年10月ですが、写真はその年の春、昭和50年4月に撮られました。明治初期まで伊豆のお伊勢さまと言われた城山神社には、遠方からの参拝者が多く、参拝者はこの白雲庵に泊まり斎戒沐浴※として参拝したと伝えられています。(公民館に設置された縁起札より)

写真の撮られた当時、白雲庵に宿泊する人はいませんし、宿泊することもできませんでしたが、毎月23日の法要は絶えることなく続いていました。そして、公民館に建て替わっても本尊はそのまま公民館に残り、今も地域の人達により毎月23日に法要が行われています。

※斎戒沐浴(さいかいもくよく) 神仏に祈ったり、神聖な仕事をする前に、飲食や行動を慎み、水を浴びて心身を清めること

白雲庵の法要は、毎月23日に行われていますが、7月の法要のみ、区の関係者等も参列し、養源寺住職の読経により盛大に行われています。

## 正しい分別を行い綺麗なごみステーションを！ ～それは一人一人がモラルを守ることです～

これまでも回覧等をお願いしてきましたが、未だに一部の方の不法投棄や間違ったごみ出しにより、ごみステーションの維持管理に苦慮している組も多数あるかと思えます。今一度、間違えやすいごみと正しい処分方法について記載しましたので、一人一人が確認していただき、クリーンなごみステーションを実現させましょう！

※詳しくは、「令和2年度クリーン函南」をご覧ください。

### ①空きかんは「資源ごみで出す」、それ以外は「燃やせないごみで出す」

空きかん(ドリンク缶・缶詰の缶等) → 中を洗ってつぶさずに出す

空きかん(スプレー缶・卓上用カセットボンベ等[アルミ製以外]) → 中身は使い切り穴をあけキャップを取って出す

それ以外のかん(アルミのスプレー缶・お菓子の缶・ミルク缶等) → 燃やせないごみで出す

### ②町では処理できないごみ(処理不能物)は専門業者や販売店に処理依頼する

家電リサイクル法の対象家電等

→ エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、パソコン(※)等

危険物 → バッテリー、LPGボンベ、

有毒性・発火性のあるもの

処理困難物 → オイル等の廃油、タイヤ、消火器、車の部品等

### ③粗大ごみは「直接焼却場」へ運搬するか 又はシルバー人材センターへ依頼(有料)

粗大ごみ → 縦・横・高さのうち

1辺でも50cmを超えるもの

(ソファ、イス、ジュタン・

ホットカーペット、タンス、自転車等)



左の写真の説明

①チャイルドシート  
(粗大ごみ)

②中身の入った  
ペンキ缶

③穴を開けてない  
スプレー缶

④オーディオ機器  
(粗大ごみ)

⑤ソファ  
(粗大ごみ)

ごみステーションへの不法投棄(堤ヶ池南側)

記念事業として昨年から寄進の募集をしています。日枝神社玉垣の建設工事が始まりました。コロナの影響で秋の例大祭は式典のみとなりますが、新しい玉垣は、例大祭に合わせてお披露目となる予定です。



## 日枝神社 玉垣建設事業

令和2年8月30日撮影

## 編集後記

今回の「あの頃の柏谷」で使った白雲庵の写真は、公民館の倉庫を整理していた見つけたものです。昭和50年の公民館建設時の一連のアルバムの中に綴られていました。お宝発見といったところですね。実は、広報で紹介してきた昔の柏谷の写真も、だんだんネタが尽きてきています。皆さんの家に眠っている懐かしい写真などありましたら、広報柏谷にぜひ提供していただけたらと思います。

## 柏谷のわんこ

～ 柏谷のかわいいわんこを紹介します～

名前：レオ

犬種：ヨークシャーテリア

性別：男の子

年齢：10歳

住んでるところ：

7組の岩崎家

特徴など：ヨーキー※

にしては大きい。

怒られるのが分かる

と目をそらします。

散歩：柏谷公園を散歩

しています。

好きなこと：

お父さんが履いてい

る靴下を催促し、振

り回して遊ぶこと。

(化け物退治のつも

りでしょうか?)

その他：大切な家族の

一員です。

※「ヨーキー」は、ヨークシャーテリアの愛称です。

